

君をのせて

岩谷時子/宮川泰(1971)

capo 1 play G

風に向いながら 皮の靴をはいて
肩と肩をぶつけながら 遠い道を歩く

僕の地図はやぶれ くれる人もいない
だから僕ら肩を抱いて 二人だけで歩く

君のころ ふさぐ時には
粹な粹な歌をうたい
Ah… 君をのせて 夜の海を渡る舟になろう

(間奏)

人の言葉 夢のむなしさ
どうせどうせ知った時には
Ah… 君をのせて 夜の海を渡る舟になろう

Ah… 君をのせて 夜の海を渡る舟になろう